

# JAバンク 取扱いファンドのタイプ別分類

一括投資/積立投資 ◎…とても向いている ○…向いている △…やや向いている

	安定型	中間型	積極型	つみたてNISA専用
一括投資	◎	○	△	—
積立投資	△	○	◎	◎
リスク・リターン	小 ←		→ 大	ファンドにより異なります

コア	安定型	中間型	積極型	つみたてNISA専用
	農林中金<パートナーズ> 為替ヘッジ 日米6資産分散ファンド (安定運用コース)	農林中金<パートナーズ> 為替ヘッジ 日米6資産分散ファンド (資産形成コース)	全世界株式債券ファンド (日本・先進国・新興国)毎月分配型	

債券	安定型	中間型	積極型	つみたてNISA専用
	JA日本債券ファンド	DIAM高格付インカム・オープン (毎月決算コース)	債券は資産の特性上、一般的に低リスク・低リターンが中心と考えられるのでこのエリアに該当する商品はありません。	債券のみを投資対象とする商品はつみたてNISA制度の適用外ですのでこのエリアに該当する商品はありません。

株式	安定型	中間型	積極型	つみたてNISA専用
	株	株式は資産の特性上、一般的に高リスク・高リターンが中心と考えられるのでこのエリアに該当する商品はありません。	農中日経225オープン	農林中金<パートナーズ> つみたてNISA 日本株式 日経225
REIT	REITは資産の特性上、一般的に高リスク・高リターンが中心と考えられるのでこのエリアに該当する商品はありません。	JA海外株式ファンド	農林中金<パートナーズ> つみたてNISA 米国株式 S&P500	

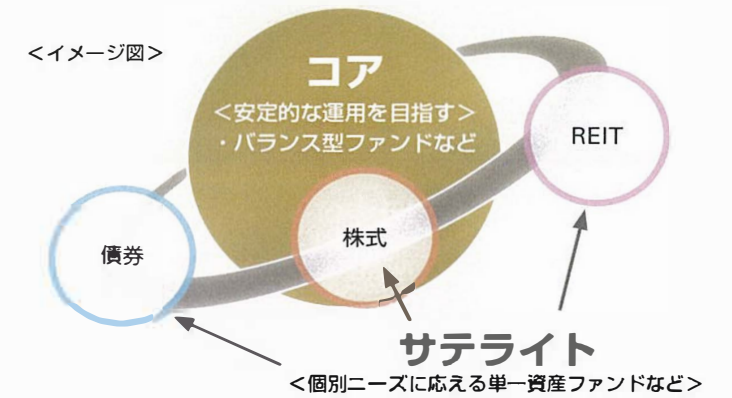
REIT	安定型	中間型	積極型	つみたてNISA専用
			NZAM J-REIT インデックスファンド(毎月分配型)	REITのみを投資対象とする商品はつみたてNISA制度の適用外ですのでこのエリアに該当する商品はありません。

●投資信託は預貯金とは異なり、元本の保証はありません。●投資信託は預金保険・貯金保険の対象ではありません。●JAバンクが取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●投資信託は国内外の有価証券等で運用されるため、信託財産に組み入れられた株式・債券・REIT等の値動きや為替変動に伴うリスクがあります。このため、投資信託資産の価値が投資元本を下回るリスク等は、投資信託の購入者に帰属します。詳しくは、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

●JAバンクは投資信託の販売会社であり、投資信託の設定・運用は投資信託会社が行います。●投資信託の運用による利益および損失は、投資信託の購入者に帰属します。●一部の投資信託には、信託期間中に中途換金できないものや、特定日にしか換金できないものがあります。●投資信託のご購入から換金・償還までの間に、直接または間接的にご負担いただく代表的な費用等には次のものがあります。なお、これらの手数料等はファンド・購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各投資信託の手数料等の詳細は契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。・購入時:申込手数料がかかるファンドがあります。・運用期間中:運用管理費用(信託報酬・管理報酬等)が日々信託財産から差し引かれます。・換金時:信託財産留保額がかかるファンドがあります。また、外貨に両替して購入・換金するファンドには、上記の各種手数料等とは別に為替手数料がかかります。●お申込みにあたっては、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●上記は当資料作成時点の制度に基づくものであり、今後、制度は変更となる場合がございます。

## ⇒ コア・サテライト戦略について

保有する資産を守りの「コア(中核)資産」と攻めの「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法



## ⇒ 投資対象のリスクとリターンの関係イメージ

右にあるタイプの投資信託ほど高い収益が期待できる一方で、価格が変動する幅も大きくなります。



●上記は一般的なイメージであり、市場動向によっては大きくかい離する可能性があるほか、将来の運用成果を表すものではありません。

## ⇒ リスクと投資カテゴリーイメージ

	安定型	中間型	積極型
リスク	小 ←		→ 大
商品イメージ	国内債券 海外債券 (為替ヘッジあり)  バランス (債券比率50%以上、 為替ヘッジあり)	海外債券 (為替ヘッジなし)  バランス (債券比率50%未満、 為替ヘッジあり)  バランス (債券比率50%以上、 為替ヘッジなし)	国内株式 海外株式 国内REIT 海外REIT  バランス (債券比率50%未満、 為替ヘッジなし)

●各ファンドのカテゴリーは、投資の参考となる情報を提供することのみを目的に、リスクリターンの目安として、「農林中央金庫」が定めたものであり、投資家に購入・解約を推奨するものではありません。

●バランスファンドは、債券比率の高低・為替リスクの有無等を基に判断をしています。

●各ファンドのカテゴリーは、過去の実績や商品性に基づく一般的なイメージであり、市場動向によっては大きくかい離する可能性があるほか、将来の運用成果を表すものではありません。